

《生きづらさ》の本棚

◎ = 巻図書館にあります

○ = 新潟市の図書館にあります（市内のどの図書館でも予約・取り寄せ可能）

	書名	著者	出版社
ひきこもり関係			
○	ひきこもれ—ひとりの時間を持つということ	吉本隆明	大和書房
○	ひきこもりから見た未来	斎藤環	毎日新聞社
○	社会的ひきこもり—終わらない思春期	斎藤環	PHP新書
○	ひきこもりはなぜ「治る」のか？—精神分析的アプローチ	斎藤環	中央法規
○	中高年ひきこもり	斎藤環	幻冬舎新書
○	大人のひきこもり—本当は「外に出る理由」を探している人たち	池上正樹	講談社現代新書
○	ルポ・ひきこもり未満—ルールから外れた人たち	池上正樹	集英社新書
○	ひきこもる女性たち	池上正樹	KKベスト新書
○	「ひきこもり」がなおるとき—23人の臨床例	磯部潮	講談社α新書
○	特別講義「ひきこもり大学」—当事者が伝える「心のトビラ」を開くヒント	ひきこもり大学 出版チーム・編	潮出版社
◎	安心ひきこもりライフ	勝山実	太田出版
○	みんなのひきこもり—つながり時代の処世術	加藤隆弘	木立の文庫
家族			
◎	ひきこもり—親のあゆみと子どもの変化	船越明子	新曜社
◎	子は親を救うために「心の病」になる	高橋和巳	ちくま文庫

○	家族の痕跡—いちばん最後に残るもの	斎藤環	ちくま文庫
○	かよいあいたい心たち—親と子が築く基本ルール	崎尾英子	言叢社
○	親子という病	香山リカ	講談社現代新書
○	毒親と絶縁する	古谷経衡	集英社新書
発達障害・精神障害			
○	女性の発達障害—困りごとに向き合うか	司馬理英子	講談社
○	大人の発達障害を診るということ—診断や対応に迷う症例から考える	青木省三、村上伸治 編集	医学書院
○	ぼくらの中の発達障害	青木省三	ちくまプリマー文庫
◎	発達障害に気づかない大人たち	星野仁彦	祥伝社新書
○	されど愛しきお妻様—「大人の発達障害」の妻と「脳が壊れた」僕の18年間	鈴木大介	講談社
○	神経発達症（発達障害）と思春期・青年期—「受容と共感」から「傾聴と共有」へ	古荘純一 編	明石書店
○	発達障害・学習障害児へのヒューマンアプローチ	小関康之	中央法規
○	発達障害の子どもを理解する	小西行郎	集英社新書
○	子どものうつと発達障害	星野仁彦	青春新書
○	発達障害とその子「らしさ」—児童精神科医が出会った子どもたち	田中哲	いのちのことは社
◎	アスペルガーを生きる子どもたちへ	佐々木正美	日本評論社
○	脳からみた自閉症—「障害」と「個性」のあいだ	大隅典子	講談社ブルーボックス
○	自閉症という謎に迫る—研究最前線報告	金沢大学子どものこころの発達	小学館新書
○	アスペルガー症候群	岡田尊司	幻冬舎新書
○	発達障害	岩波明	文春新書

○	ぼくの心を病名で呼ばないで	青木省三	日本評論社
○	時代が締め出す心	青木省三	日本評論社
○	子どもの「心の病」を知る—児童期・青年期とどう向き合うか	岡田尊司	PHP新書
○	ここは、日本でいちばん患者が訪れる大人の発達障害診療科	加藤進昌	プレジデント社
○	わたしはスペクトラム	リビー・スコットほか	小学館
○	技法以前—べてるの家のつくりかた	向谷地生良	医学書院
○	精神疾患を持つ人を、病院でない所で支援するときにはまず読む本—横綱級困難ケースにしないための技と型	小古瀬伸幸	医学書院

生活設計・社会福祉

○	生きづらさの生き方ガイド —本人・家族の本音と困りごと別相談先がわかる本	大橋史信、岡本二美代	日本法令
◎	ひきこもりのライフプラン—「親亡き後」をどうするか	斎藤環、畠中雅子	岩波ブックレット
◎	働かない息子・娘に親がすべき35のこと	二神能基、畠中雅子 監修	アーススター・エンタテイメン
○	障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて	渡部伸 監修	自由国民社
◎	障害者の経済学	中島隆信	東洋経済新報社
◎	障害年金をもらいながら働く方法を考えてみませんか？	松山純子	日本法令

対話・コミュニケーション

○	「コミュニケーション能力がない」と悩むまえに—生きづらさを考える	貴戸理恵	岩波ブックレット
◎	「コミュ障」の社会学	貴戸理恵	青土社
○	こころを聞く—カウンセリング入門	崎尾英子	大修館書店
○	「待つ」ということ	鷺田清一	角川選書
○	「聴く」ことのか—臨床哲学試論	鷺田清一	阪急コミュニケーションズ

○	「ひきこもり」から考える—〈聴く〉から始める支援論	石川良子	ちくま新書
その他			
○	地域におけるひきこもり支援ガイドブック—長期高年齢化による生活困窮を防ぐ	堺泉洋 編著	金剛出版
○	ルポ「8050問題」—高齢親子”ひきこもり死”の現場から	池上正樹	河出新書
○	ひきこもり図書館—部屋から出られない人のための12の物語	頭木弘樹 編	毎日新聞出版
○	居るのはつらいよ—ケアとセラピーについての覚書	東畑開人	医学書院
○	ありのままがあるところ	福森伸	晶文社

2023.9更新 まるまるの会運営ボランティア